

平成 28 年度尾張地域産業労働会議資料

## 尾張地域の産業振興に向けた人材育成について

東海学園大学 三宅章介

### 1 はじめに

愛知県では、昨年(平成 27 年)の 12 月に、5 年後の平成 32 年に向けて目指すべき姿を『産業力・人財力・地域力を「高め」「支え」「つなぐ」活力と持続力ある日本一の「産業首都あいち」づくり』とする「あいち産業労働ビジョン 2016-2020」を策定したところである。

その中において、地域における産業界、労働組合、行政機関などで構成する「地域産業労働会議」を「計画の推進体制、関係機関との連携・協働」に関する取組の一つと位置づけ、この会議における意見交換を通じて相互の理解を深めるとともに、そこでの意見を取りまとめて地域ごとの課題に対応していくこととしている。

そうしたことを踏まえて、本日の会議では、「尾張地域の産業振興に向けた人材育成について」をテーマに、企業の主体は人であり、企業の発展は人材によるところが大きいことから、特に地域を支える中小・小規模企業における人材育成に焦点を置き、出席者の皆様方から忌憚のない御意見を頂戴することができれば幸いである。

### 2 尾張地域の地域特性と産業の特徴

尾張県民事務所管内の市町村数は、14 市 4 町(平成 28 年 5 月末現在)である。

管内の地域は、愛知県の北西部に位置し、名古屋市を扇状に囲む木曾川によって造られた濃尾平野とその東側の尾張丘陵から形成され、その総面積は、761.17 平方キロメートルで県土の 14.72 パーセントを占め、土地利用は、平成 27 年版「土地に関する統計年報」によれば宅地が 242.13 平方キロメートルの 31.8 パーセント、農地が 133.93 平方キロメートルの 17.6 パーセント、森林が 137.86 平方キロメートルの 18.1

パーセントという割合になっており、工場用地や住宅用地などの都市的利用が広がる反面、尾張地域の東部や北部には緑も保全されており、バランスのとれた地域となっている。

管内の人口は、平成 28 年 5 月 1 日現在の推計で 1,887,277 人と県人口の 25.17 パーセントを占め、春日井市、尾張旭市、豊明市、日進市、清須市、北名古屋市、長久手市、愛知郡東郷町、西春日井郡豊山町、丹羽郡大口町、丹羽郡扶桑町では人口が増えているものの、小牧市では横ばい、一宮市、瀬戸市、稲沢市、江南市、犬山市、岩倉市では人口が減少傾向にある。

管内における産業としては、古くからこの地域の発展を支えてきた繊維産業や窯業などの地場産業から、工作機械、自動車関連に至るまで、幅広いモノづくり産業が展開され、次代の基幹産業として大きな期待が寄せられる、最先端の航空宇宙産業の分野では、国内随一の集積を誇る地域となっており、さらに、商業を始め、多様な都市型サービス産業が集積しているほか、大学や「知の拠点あいち」を始めとする試験研究機関が数多く立地して学術研究機能も充実した状況にある。ただ、課題もあり、今後、リニア中央新幹線の開業効果と、充実が進む広域交通ネットワークを生かし、ビジネスの一大拠点として大きく発展していくためには、名古屋の高次都市機能の強化と合わせ、この地域に集積する多様な産業の更なる高度化を図ることが必要である。

このことは、地域の現状等を踏まえ、昨年度、管内の各市町において策定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略」でも同様の分析がなされており、人口減少の課題を解決するためには、地場産業の活性化や航空宇宙産業を始めとした次世代産業の誘致、人材育成によるしごとの創生が重要だとしている。

このような地域特性と産業の特徴を踏まえ、県が平成 26 年度に策定した中長期的な観点から愛知の進むべき方向性を示した「あいちビジョン 2020」では、尾張地域のめざすべき将来像を『リニア開業のインパクトを受け止め、世界に開かれた、人・モノ・情報が活発に行き交う大都市地域』と掲げている。

### 3 「あいち産業労働ビジョン 2016-2020」

県では、自然増、社会増を維持しながら人口増加を続けている力の源泉を自動車産業、航空宇宙産業、ロボット産業などのクラスター形成や中小・小規模企業の振興により、厚みを増している世界有数の産業・企業の集積にあるととらえ、昨年12月にリニア中央新幹線、燃料電池自動車MIRAI、ジェット旅客機MRJという、日本の未来を創るプロジェクトが大きく動き始める中で、産業集積を活かし、我が国の成長をリードする「日本一元気な愛知」の実現に向け、県が2020年（平成32年）までの今後5年間に取り組むべき産業労働政策の基本的な方向性と主な施策を示した「あいちビジョン2020」の産業・労働面でのアクションプランと位置づける「あいち産業労働ビジョン2016-2020」を策定している。

このビジョンでは、「中小・小規模企業の企業力強化」「地域創生に資する産業の振興」「次世代産業の育成・強化」「研究開発機能・立地環境の整備」「グローバル展開への支援」「観光の促進」「就労の促進・能力の活用」「生き活きと働ける環境づくり」の8つをビジョンにおける施策の柱とし、それに加えて、グローバル化や少子高齢化が進む中、本県が引き続き我が国の産業をけん引していくためには、地域を支え、産業を支える人材の育成が不可欠であるとして、「産業人材の育成・強化」を各施策に対する横断的な施策として位置づけ、重点的に取り組むこととしている。

その中で、現状と課題として、

- ・ 本県は、技能五輪メダリストを始め、多くの優秀な技能者を輩出するとともに、全国一の技能検定合格者数を誇る技能王国と言えるが、優良な民間企業の力によるところが大きい。
- ・ グローバル競争による技術革新や経営環境の変化が激しくなっており、企業の生産性を維持・向上させていくためには、こうした変化に対応できる技術者・技能者の重要性が増大しているが、指導者不足などにより、企業内だけでの人材育成が難しくなっている。
- ・ こうした中、本県の最大の強みである「モノづくりの高度技術・技能」を後世に継承していくことが喫緊の課題である。
- ・ 特に、航空機産業においては、ボーイング787やMRJなど航空機

生産の拡大に伴い、人材の質・量の不足が懸念される中、これまで大企業に頼ってきた人材育成体制が限界を迎えており、中小・小規模企業での人材の育成・確保が急務となっている。

- ・ また、次代の愛知を担う子ども・若者のモノづくり離れが進み、理系人材が不足しており、モノづくりへの興味を高める地域での取組の重要性が増大している。
- ・ 中小・小規模企業は、大企業に比べ資金や人材、ノウハウが不十分なため、自社単独での人材育成が困難である。地域や業界において共同で人材育成を行うなど中小・小規模企業の技術・技能の質を向上させ、本県の強みである産業集積を維持・拡充させていくことが重要である。
- ・ 特に、サービス産業では、全体として労働生産性が低いため、労働生産性向上のための取組を進めていくことが今後の課題である。また、低賃金の非正規労働者を活用している割合が高く、一人一人の能力向上による労働生産性向上が課題である。
- ・ 教育現場では、キャリア教育の取組が進んできているものの、今の子どもたちは、親世代と比べ、働く場所と住環境の分離が進み、身近な生活のなかで職業に触れる機会が少なくなっている。また、高校・大学への進学が一般的となる中、若者の早期離職や不安定雇用（非正規労働者としての就職）が高水準で推移しており、早い段階からの職業観醸成の重要性が増大している。

と分析し、それを受けた施策の方向性として、

- ・ 本県の強みである「モノづくりの高度技術・技能」を後世に継承していくため、企業が行う高度なモノづくりに向けた人材の育成を支援する。
- ・ 中小・小規模企業は資金や人材、ノウハウなどに限界があり、独自の取組が困難なため、その人材育成や能力開発をきめ細かく支援していく。
- ・ 子ども・若者の「職業」に触れる機会が減っており、職業観の不足、モノづくり離れが進んでいるため、キャリア教育・職業教育を推進する。

といった方向性を示している。

#### 4 中小・小規模企業訪問ヒアリングの結果

調査時期：平成28年4月21日～6月3日				
調査企業数：117社				
<table border="0"> <tr> <td>製造業</td> <td>85社(内、小規模企業35社)</td> </tr> <tr> <td>商業・サービス業</td> <td>32社(同16社)</td> </tr> </table>	製造業	85社(内、小規模企業35社)	商業・サービス業	32社(同16社)
製造業	85社(内、小規模企業35社)			
商業・サービス業	32社(同16社)			
ヒアリング内容：経営の現状・課題、今後の見通し、活用した支援策、県行政に対する意見・要望				

##### 〈主な結果〉

##### 【経営課題について】（複数回答）※

	人材不足	人材育成	受注競争の激化	販路開拓	価格低下・値下要請	需要変化
製造業・その他	46社	45社	42社	27社	30社	24社
商業・サービス業	14社	15社	9社	16社	9社	9社
全産業	60社	60社	51社	43社	39社	33社
(内、小規模企業)	21社	19社	18社	19社	13社	15社

※下記の選択肢から、当てはまるものを全て選択。

- ①受注競争の激化 ②販路開拓 ③需要変化（例：少子高齢化等）  
 ④新分野進出 ⑤新商品開発 ⑥知的財産 ⑦販売価格低下、値下要請  
 ⑧海外進出・販路拡大 ⑨人材不足 ⑩人材育成 ⑪後継者不足  
 ⑫資金繰り ⑬原材料高 ⑭為替変動 ⑮設備投資  
 ⑯BCP（事業継続計画）の策定 ⑰その他

##### 【従業員の人材育成に関する問題・課題】（複数回答）

	時間不足	指導人材不足	定着率の低さ	資金不足	特になし	その他
製造業・その他	42社	33社	20社	14社	12社	8社
商業・サービス業	11社	8社	5社	10社	8社	2社
全産業	53社	41社	25社	24社	20社	10社
(内、小規模企業)	19社	9社	9社	15社	13社	4社

【行政への要望について（人材育成支援）】※抜粋

- ・ 時間もコストも余裕がないので、既存の社員への教育・育成の支援があるとよい。
- ・ 人材育成の一環として従来のものづくり以外の IT 関連（IoT、インダストリー4.0）の講座があれば参加したい。
- ・ ダイカスト研修など、専門業の教育への支援。
- ・ 人材育成では、県や市工研が開催する設計技術者講習に参加しているが、一層の充実を希望する。
- ・ 名古屋高等技術専門校においてマシニングセンタや CAD・CAM を取り扱う授業時間を増やし、訓練生を育成して欲しい。また、訓練期間も半年だと習得できる技能に限界があることから、1年できれば2年間みっちりやっていただきたい。
- ・ 若手を育成する人材育成支援。
- ・ 多額のコストがかかる人材育成に対する支援をしてほしい。

県では、毎年、中小・小規模企業を対象に企業訪問を行い、ヒアリングを実施している。今年度においても、上記の日程で企業訪問を実施したところ、経営課題として「人材不足」や「人材育成」を挙げる企業の声が多く聞かれている。

## 5 「第10次愛知県職業能力開発計画」

こうした状況を踏まえるとともに、国において第10次職業能力開発基本計画が今年度の4月に策定されたことを受けて、県では、日本一のモノづくり県である本県が、今後も、日本の産業をリードし続け、その「人財力」の一層の育成・強化をめざすため、『産業を支え、地域を支える産業人材の育成・強化～日本一の「産業首都あいち」・「人が輝くあいち」づくりをめざして～』をテーマに、施策の柱として①高度なモノづくりに向けた人材の育成支援、②中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援、③キャリア教育・職業教育の推進の三つを掲げる「第10次愛知県職業能力開発計画」を策定し、具体的な取組を進めていくこととしている。

この計画では、本県の産業人材育成（職業能力開発）に関する課題として、「モノづくりの基盤を支える技術者・技能者が不足」、「早期離職

や不安定雇用の増加、理系人材の不足」のほかに、「中小企業は社内での人材育成が不十分」であることを挙げている。

こうした課題等を踏まえ、第10次愛知県職業能力開発計画では、今後の産業人材育成のテーマ、三つの施策の柱及び具体的な取組を以下のとおり掲げ、その方向性に沿った施策の展開を図ることにより、日本一のモノづくり県である本県が、今後も日本の産業をリードし続け、その「人財力」の一層の育成・強化をめざすとしている。

## 【テーマ】

産業を支え、地域を支える産業人材の育成・強化

～日本一の「産業首都あいち」・「人が輝くあいち」づくりを目指して～

## 【三つの施策の柱（実施目標）】

- ① 高度なモノづくりに向けた人材の育成支援
- ② 中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援
- ③ キャリア教育・職業教育の推進

## 【具体的な取組】

### (1)三つの施策の柱に共通する取組

- ア 産学行政の連携による産業人材育成体制の強化
- イ 県立高等技術専門校の見直し・機能充実
- ウ 技能五輪全国大会及び全国アビリンピックの開催準備・招致

### (2)施策の柱ごとの取組

- ア 高度なモノづくりに向けた人材の育成支援
  - (ア) モノづくりの基盤強化に向けた人材の育成支援
  - (イ) ビジネス環境の変化に対応する人材育成の強化
  - (ウ) 若手技能者の育成支援
- イ 中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援
  - (ア) 企業・業界及び在職者・求職者のニーズに対するきめ細かな対応の強化
  - (イ) 労働生産性の向上に向けた支援
  - (ウ) 人材育成・能力開発に向けた関係機関（産業界、労働

## 界（組合等）、教育界等）の連携強化

### ウ キャリア教育・職業教育の推進

（ア）発達段階に応じたキャリア教育の推進

（イ）産業界・地域と連携したキャリア教育の推進

（ウ）モノづくり離れ対策の推進

（エ）専門高校における職業教育の充実

## 6 これからの尾張地域の産業振興に向けた人材育成について

活力ある産業社会とは、新規起業者数が多いことのほか、我が国の企業数でほとんどを占める中小企業が、技術や技能の面で常に進歩しているということが要件である。しかし、それには多くの資金と時間がかかる。先の中小・小規模企業訪問ヒアリングの結果の中の「従業員の人材育成に関する問題・課題」にもあるように、「時間不足」「定着率の低さ」「資金不足」などは、このことの問題点を的確に指摘しており、今も昔も中小企業の常に変わらない問題であろうと考える。

そこで、ここでは、特に人材不足に限定して見ていくことにする。

人材不足は好景気のときには大企業に吸収され、また、職場環境の問題から本調査にあるように「定着率の低さ」となって人材不足が生じてくる。不況期には、中小企業は資金難と仕事不足から従業員に余剰感が出てくるのである。正に中小企業は、経営の主体となる人材不足と過剰感にいつも悩まされることになる。やや不足気味、適正数ということがなかなか実現されないのである。これでは人材育成は、なかなか困難である。

この問題解決には、どうすればよいかである。それは、一つには現在雇用している従業員の能力とやる気をいかに引き出すかということである。つまり、「定着率の低さ」を「上げる」ということである。そのためには、従業員がこの会社の発展のために自らの能力に一層磨きをかけ、より高い付加価値を創出していこうという気持ちを持つことが何よりも大切なことだと考える。

ところが、実際はどうであろうか。中小企業は個人事業主がほとんどであるし、また、株式会社といえども株式は特定の人間に集中しており、その者の意思が経営に極めて反映しやすいのである。つまり、他の役員



や従業員の意思が経営になかなか反映されにくいということである。これでは、従業員は、遅かれ早かれ、より良い職場を求めて移動や転職してしまうことになる。つまり、中小企業は規模が小さいけれども、「見える化」されるのではなく、「見えない化」される傾向が強いのである。

とはいえ、先にも触れたが、産業社会の活力は、新規起業数が多いこと、社会の大部分を占める中小企業が、活発であることに依っているのである。この二つの相矛盾する現象をどのように両立させるかが、今日、中小企業の多くが抱えている人材育成の基盤となるのであるが、とはいえ、このことに多くの中小企業者は気が付かないのである。なぜなら、株式の大半を持っている限り、会社の支配権は法的にも満たしているのであり、問題はないからである。このようなことが、通常であることによって、多くの従業員はやる気を失うか、あるいは他の会社に移ってしまうのである。そのため、常に採用活動に力を注ぐことになるのであるが、その理由は表面的には「人材不足」であり、「新規事業への進出」というような名目になるのである。中小企業の労働力不足の原因についての「経営の近代化」という理由は余り外に出てこないのである。採用活動において、「当社は経営が近代化されていないから定着率が悪い」とは言えないからである。

このようなことから、「あいち産業労働ビジョン」にあるように、中小企業に多くの期待がかかっていることに鑑み、特定の人物に企業支配権が集中していることが前提であっても、それは社会の活力でもあるので、問題は、より一層の権限の委譲や働きやすい環境整備、人材育成等を行い、成果を公平に分配する開かれた経営を目指していただきたいと思うのである。「経営の見える化」の実現である。そのことによって、従業員を大事にする会社であることが社会に広まり、そのことを通して一人でも優れた従業員を採用する契機となればと考えるのである。

## 7 おわりに

前段でも記述したとおり、尾張地域は、古くからこの地域の発展を支えてきた繊維産業や窯業などの地場産業から、工作機械、自動車関連に至るまで、幅広いモノづくり産業が展開されているほか、次代の基幹産業として大きな期待を寄せられている最先端の航空宇宙産業の分野で

は、国内随一の集積を誇る地域である。したがって、今後、愛知県が日本一のモノづくり県であり続け、「産業首都あいち」・「日本一元気な愛知」を実現していくためには、この地域における次世代産業の育成・強化と地域産業の活性化が重要であり、特に、モノづくり企業の大半を占め、地域社会を支えている中小企業の発展が必要不可欠である。

そのためには中小・小規模企業訪問ヒアリングにおいて、「人材育成」が経営課題に挙がっていることを踏まえ、県はもとより、関係者が連携して中小・小規模企業の人材育成・能力開発支援に着実に取り組み、中小・小規模企業の経営課題の解消を支援していく必要がある。

本日、いただいた意見も参考にしてもらい「第10次愛知県職業能力開発計画」を着実に進めて中小・小規模企業の発展につなげ、尾張地域の発展はもとより、ひいては日本一元気な愛知の実現をめざしていただきたい。